



Let's Building  
Log-house

## 第4章

「ハンドカット」も「マシンカット」も魅力たっぷり！

# 憧れのログハウス を作ってみよう！

セルフビルドの憧れを語るとき、誰もが一度は考えるのが  
「丸太小屋=ログハウス」の存在ではないだろうか？  
その魅力たっぷりの建物の作り方についてご紹介していこう！



# ログハウスのタイプと特徴

私が「ハンドカットログハウス」のセルフビルドを勧めない理由

私が初めて作った建物は「ログハウス」だった。これは、若い頃に在籍していたログハウスメーカーで、プロのログビルダーとして建てたものだ。その後、ログハウス雑誌を編集していた出版社で、約7年間、ログハウスの記事を書く日々を送った。この頃は、日本国内はもちろん、本場カナダやアメリカなどのログハウスも取材する機会を得ることができた。

そんな私の経験で言えるのは、ログハウスは素人でも作りやすい建物ではあるが、「ハンドカット」はいろいろな意味でハードルの高い建物ということだ。

## ハンドカットとマシンカットの違いを知ろう！

ログハウスの種類には、大きく分けて「ハンドカット」と「マシンカット」がある。いずれも、ログ材（丸太や製材したもの）を横積みにして壁を形成していくのが最大の特徴で、この作業が初心者でも理解しやすく、しかも丈夫な建物を作れることからセルフビルダーたちの絶大な人気を得ているわけだ。

まず、マシンカットについてだが、これはコンピューター制御された専用機械で加工されたログ材を組み上げるだけで建てられるプラモデル的なログハウスだ。細い

## ◆ログハウスの特徴と魅力



ログハウスの構造体は強度が高く、耐震性や耐風性にとても優れている。また、ログ材自体がもつ断熱性や調湿性も魅力と言える。そして、ふんだんに使われる木材が表し仕上げとなるため、木の雰囲気や香りを存分に楽しめることも大きな魅力だ

ログ材を使えばクレーンも無用とあって、この手軽さが週末セルフビルダーたちに受け入れられている。メーカーもそのニーズに応えるために、屋根材や窓、ドアなどを同梱してキットにした商品を数多くラインナップしているわけだ。より手軽にセルフビルドをするなら、このマシンカットでチャレンジしてみるのがいいと思う。

## ◆主なログハウスのタイプ



### 【ハンドカット】

丸太をチェーンソーで加工して作るログハウス。工期が長くなる傾向があり、クレーンなどが必要になるケースも多いが、完成時の感激はひとしおだ。木の雰囲気にあふれるワイルド感もハンドカットならではの



### 【マシンカット】

工場で精密にカットされたログ材を積み上げていくタイプ。基本的にチェーンソーを使わないので、素人でもプラモデル感覚で比較的容易に建てられる。仕上がりの雰囲気も洗練されていて、女性にも人気が高い



### 【ポスト&ビーム】

丸太の柱と梁で構造体を作る「軸組み構法」のログハウス。地上で丸太を加工できるので工期を短縮しやすい。写真は壁に丸太を落とし込む「ピーセンピース」で、軸組みとログハウスの魅力を兼ね備える

一方のハンドカットは、原木の丸太をチェーンソーで一本一本加工しながら積み上げるという文字通り手作り感満載のログハウスだ。すべてが手作業となるため、そこに費やす時間や汗の量はマシンカットの比ではない。扱う丸太もかなりの重量となるので、ひとりで動かすのは重労働。積み上げる壁が高くなってくれば、クレーンなどの重機も必要になる。もちろん、チェーンソーの技術も必要不可欠だ。これらが前述の「ハードルの高さ」に繋がっており、それなりの覚悟がない人には、正直、ハンドカットはお勧めしない。

しかし、逆にこうした苦労を理解したうえで、あえてハンドカットに挑戦している人は少なくない。実際、私のセルフビルド仲間の多くもチャレンジしているし、なかには細腕の女性もいる。彼ら彼女たちの体験談はヘタなドラマよりも断然おもしろく、完成したときの感動はこの上ないものがあったという。ハンドの場合は、使用する材料が自然の丸太なので、多少のカットミスや傷、すき間などがあっても気にならないし、むしろそれがいい雰囲気醸し出してくれるメリットもある。

マシンとハンド、どちらがいいとは一概には言えないが、どちらを選ぶか悩むこともセルフビルドの楽しみのひとつと言えるだろう。

## 超オススメの「ポスト&ビーム」とは？

さて、ログハウスには、もうひとつの選択肢がある。それが、私が実際にセルフビルドして第5章でご紹介している「ポスト&ビーム」だ。ハンドカットと同じようにチェーンソーで丸太を加工して作る点は変わらないが、丸太を横積みで壁にするのではなく、柱や梁などの構造体として使うことが大きな違いとなっている。すなわち、軸組み構法のログハウスというわけだ。

このポスト&ビームでは、すべての材料を最初に加工してから一気に棟上げ（上棟）するため、ハンドカットと比較すると工期を大幅に短縮できるのがメリット。材料の刻みを地上で行えることから、安全性や作業効率の向上にも繋がる。さらに、壁に丸太を落とし込んでいく「ピーセンピース」なら、木の家の雰囲気もたっぷり味わうことができる。まさに、ログハウスと軸組み構法のいいとこどりができるわけだ。



ハードな作業となるハンドカットのログハウス作りだが、女性がひとりでトライした例もある。それなりの苦労を覚悟したうえでのチャレンジなら、完成したときの感動は間違いなく、それが人生のかけがえのない宝物にもなることをお約束する



マシンカットは、チェーンソーや重機を使わずにログ積みできることが大きなメリットになる。また、屋根や建具などの材料が同梱されたキットを利用することで、セルフビルドのハードルはさらに低くなる。素人にとっては、とても作りやすい建物といえるだろう